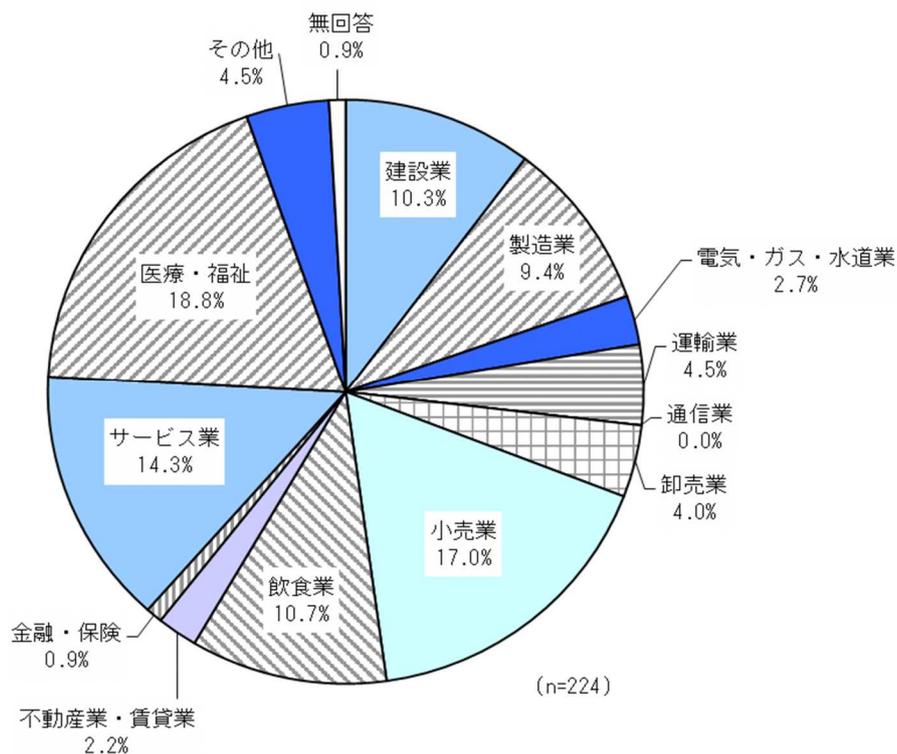


3. 事業者向けアンケートの調査結果

問1 貴事業所はどの産業に該当しますか。

「⑫医療・福祉」が最も多く18.8%であり、次いで「⑪サービス業」14.3%の順となっている。

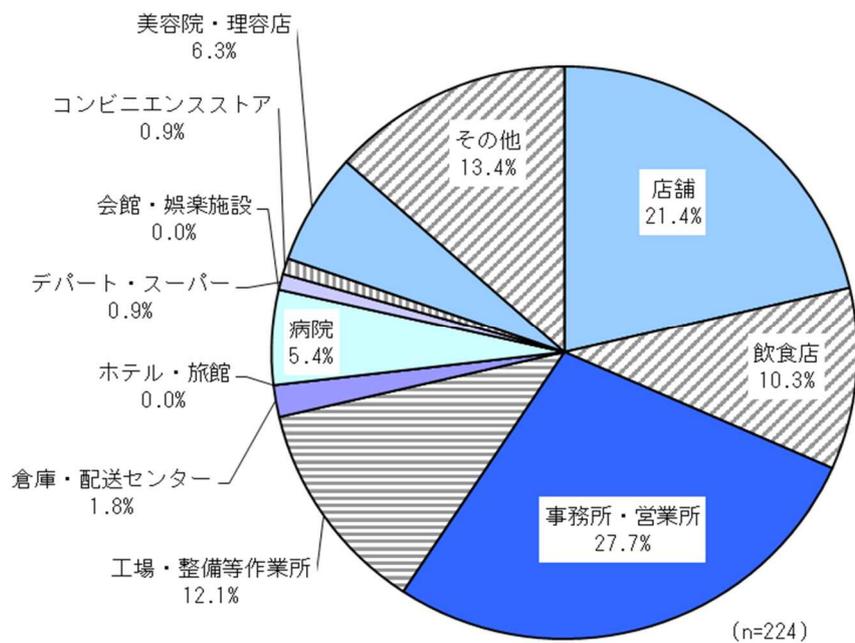
事業	回答者		事業	回答者	
	回答数	割合		回答数	割合
① 建設業	23	10.3%	⑨ 不動産業・賃貸業	5	2.2%
② 製造業	21	9.4%	⑩ 金融・保険	2	0.9%
③ 電気・ガス・水道業	6	2.7%	⑪ サービス業	32	14.3%
④ 運輸業	10	4.5%	⑫ 医療・福祉	42	18.8%
⑤ 通信業	0	0.0%	⑬ その他	10	4.5%
⑥ 卸売業	9	4.0%	⑭ 無回答	2	0.9%
⑦ 小売業	38	17.0%	調査数	224	100%
⑧ 飲食業	24	10.7%			



問2 貴事業所の形態は、どれにあてはまりますか。

「③事務所・営業所」が最も多く 27.7%であり、次いで「①店舗」 21.4%、「⑫その他」 13.4%の順となっている。

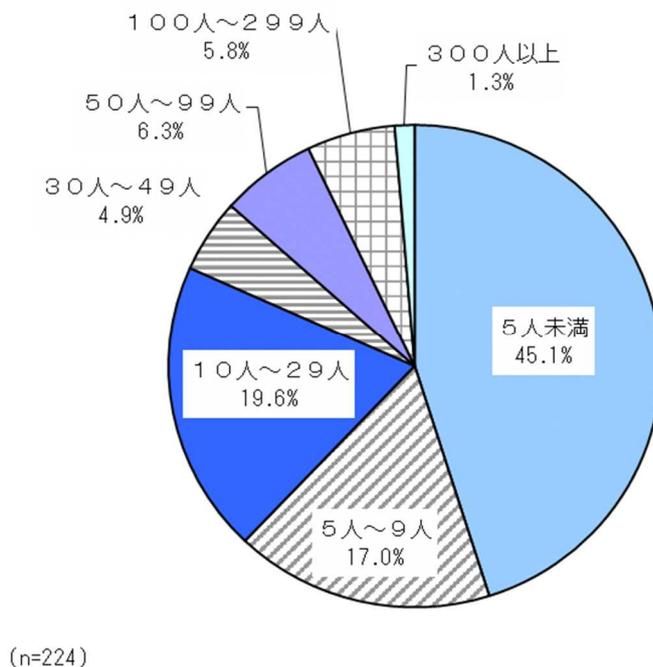
形態	回答者		形態	回答者	
	回答数	割合		回答数	割合
① 店舗	48	21.4%	⑨ デパート・スーパー	2	0.9%
② 飲食店	23	10.3%	⑩ コンビニエンスストア	2	0.9%
③ 事務所・営業所	62	27.7%	⑪ 美容院・理容店	14	6.3%
④ 工場・整備等作業所	27	12.1%	⑫ その他	30	13.4%
⑤ 倉庫・配送センター	4	1.8%	⑬ 無回答	0	0.0%
⑥ ホテル・旅館	0	0.0%	調査数	224	100.0%
⑦ 病院	12	5.4%			
⑧ 会館・娯楽施設	0	0.0%			



問3 貴事業所の従業員は何人ですか。

「①5人未満」が最も多く45.1%であり、次いで「③10人～29人」19.6%の順となっている。

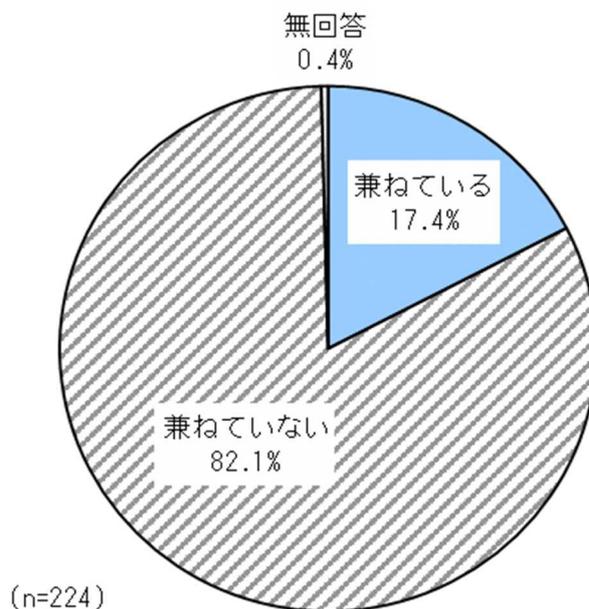
人数	回答者	
	回答数	割合
① 5人未満	101	45.1%
② 5人～9人	38	17.0%
③ 10人～29人	44	19.6%
④ 30人～49人	11	4.9%
⑤ 50人～99人	14	6.3%
⑥ 100人～299人	13	5.8%
⑦ 300人以上	3	1.3%
⑧ 無回答	0	0.0%
調査数	224	100.0%



問4 貴事業所は、経営者や従業員の住居を兼ねていますか。

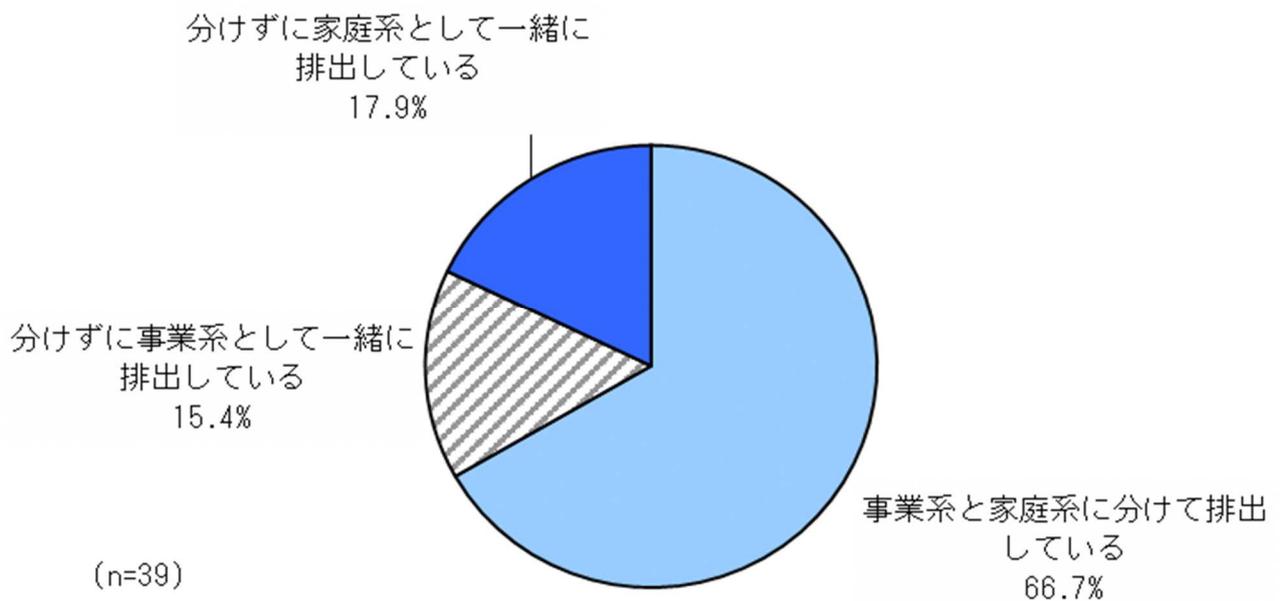
「②兼ねていない」が82.1%と大半を占める結果となった。

	回答者	
	回答数	割合
① 兼ねている	39	17.4%
② 兼ねていない	184	82.1%
③ 無回答	1	0.4%
調査数	224	100.0%



問5 (問4で①を回答)住居を兼ねている場合、事業系ごみと家庭系ごみに分けて排出していますか。
「①事業系と家庭系に分けて排出している」が最も多く66.7%であり、次いで「③分けずに家庭系として一緒に排出している」17.9%の順となっている。

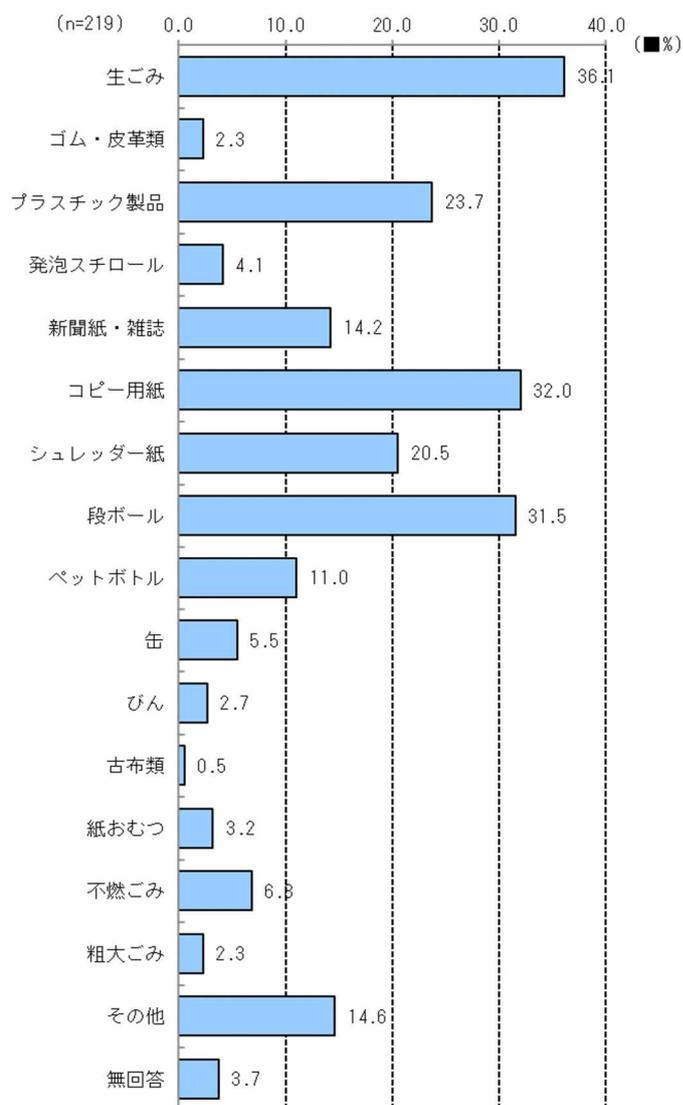
分別	回答者	
	回答数	割合
① 事業系と家庭系に分けて排出している	26	66.7%
② 分けずに事業系として一緒に排出している	6	15.4%
③ 分けずに家庭系として一緒に排出している	7	17.9%
④ 無回答	0	0.0%
調査数	39	100.0%



問6 貴事業所で、排出量の多いごみは何ですか。(3つまで)

「①生ごみ」が最も多く 36.1%であるが、次いで「⑥コピー用紙」32.0%、「⑧段ボール」31.5%の順となっており、逆に「⑫古布類」0.5%と最も少なく、次いで「②ゴム・皮革類」「⑮粗大ごみ」が同率で2.3%の順となっている。

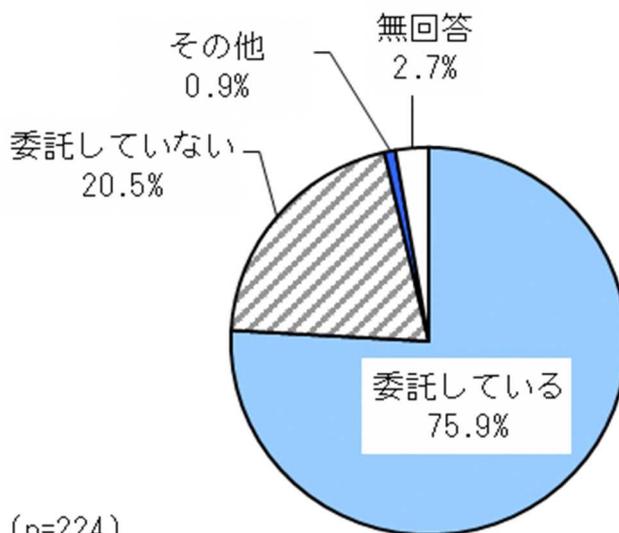
種類	回答者	
	回答数	割合
① 生ごみ	79	36.1%
② ゴム・皮革類	5	2.3%
③ プラスチック製品	52	23.7%
④ 発泡スチロール	9	4.1%
⑤ 新聞紙・雑誌	31	14.2%
⑥ コピー用紙	70	32.0%
⑦ シュレッダー紙	45	20.5%
⑧ 段ボール	69	31.5%
⑨ ペットボトル	24	11.0%
⑩ 缶	12	5.5%
⑪ びん	6	2.7%
⑫ 古布類	1	0.5%
⑬ 紙おむつ	7	3.2%
⑭ 不燃ごみ	15	6.8%
⑮ 粗大ごみ	5	2.3%
⑯ その他	32	14.6%
⑰ 無回答	8	3.7%
調査数	219	214.6%



問7 貴事業所では、ごみの収集を一般廃棄物処理業者に委託していますか。

「①委託している」が最も多く 75.9%であり、次いで「②委託していない」20.5%、「③その他」0.9%の順となっている。

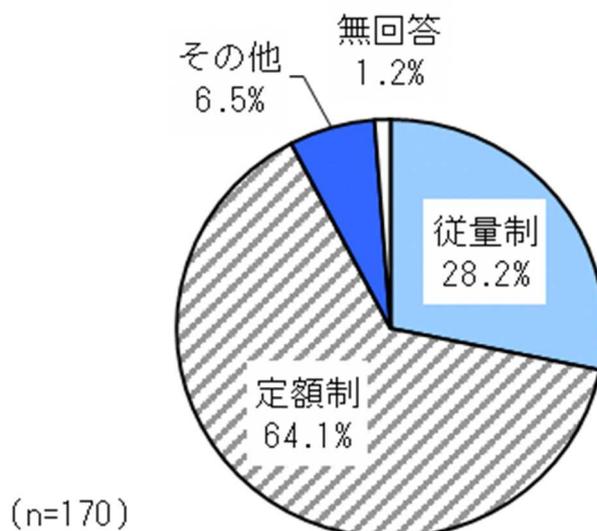
状況	回答者	
	回答数	割合
① 委託している	170	75.9%
② 委託していない	46	20.5%
③ その他	2	0.9%
④ 無回答	6	2.7%
調査数	224	100.0%



問8 (問7で①と回答) 契約の形態は次のうちどれにあたりますか。

「②定額制」が最も多く 64.1%であり、次いで「①従量制」28.2%の順となっている。

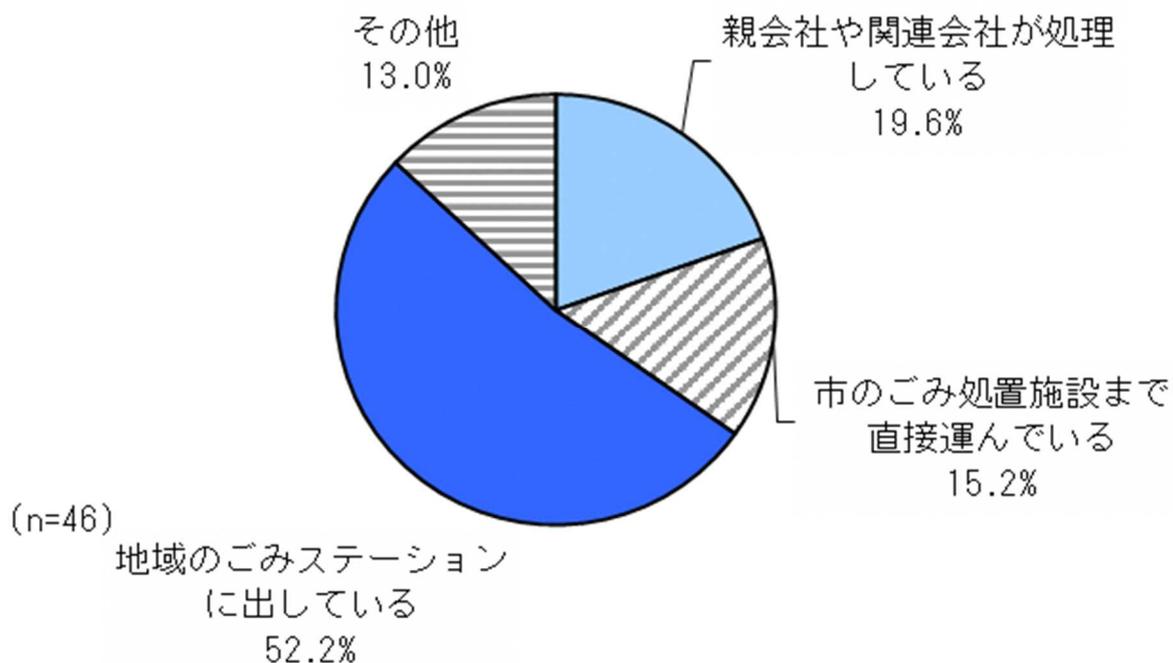
形態	回答者	
	回答数	割合
① 従量制	48	28.2%
② 定額制	109	64.1%
③ その他	11	6.5%
④ 無回答	2	1.2%
調査数	170	100.0%



問9 (問7で②と回答) ごみをどのように処理していますか。

「③地域のごみステーションに出している」が最も多く 52.2%であり、次いで「親会社や関連会社が処理している」19.6%の順となっている。

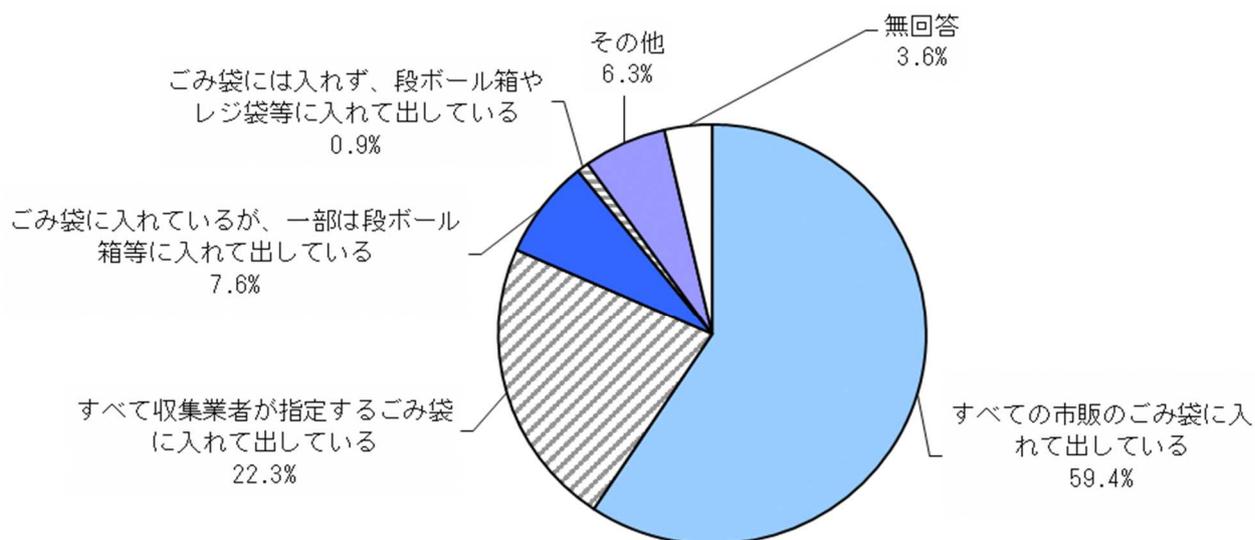
方法	回答者	
	回答数	割合
① 親会社や関連会社が処理している	9	19.6%
② 市のごみ処理施設まで直接運んでいる	7	15.2%
③ 地域のごみステーションに出している	24	52.2%
④ その他	6	13.0%
⑤ 無回答	0	0.0%
調査数	46	100.0%



問10 貴事業所では、燃やすごみを出すにあたって、どのように出していますか。

「①すべての市販のごみ袋に入れて出している」が最も多く 59.4%であり、次いで「②すべて収集業者が指定するごみ袋に入れて出している」22.3%の順となっている。

方法	回答者	
	回答数	割合
① すべての市販のごみ袋に入れて出している	133	59.4%
② すべて収集業者が指定するごみ袋に入れて出している	50	22.3%
③ ごみ袋に入れているが、一部は段ボール箱等に入れて出している	17	7.6%
④ ごみ袋には入れず、段ボール箱やレジ袋等に入れて出している	2	0.9%
⑤ その他	14	6.3%
⑥ 無回答	8	3.6%
調査数	224	100.0%

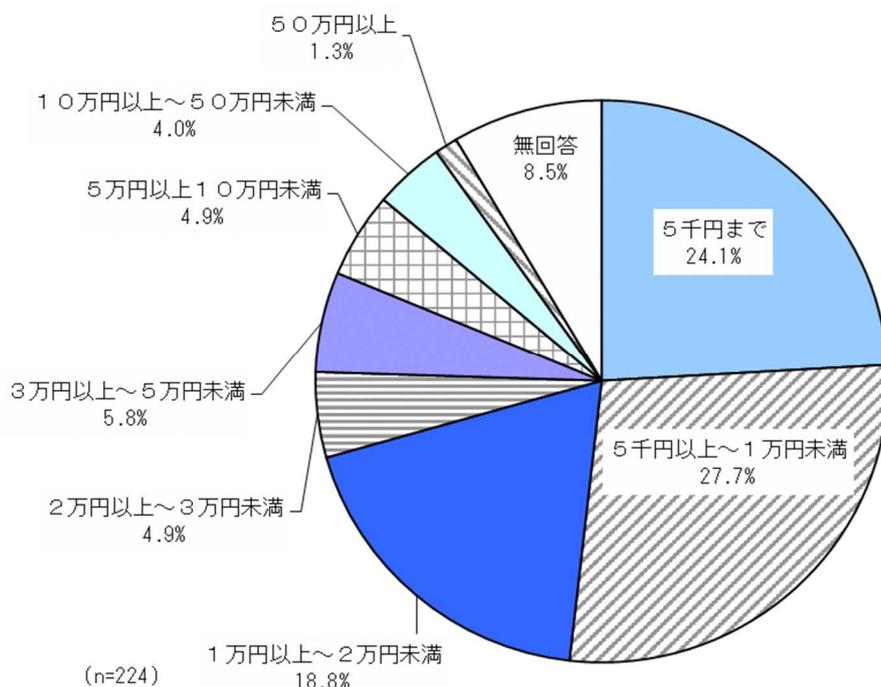


(n=224)

問11 貴事業所では、ごみ焼却処理費やリサイクル費等のごみ処理経費として、1か月平均どれくらいかかっていますか。

「②5千円以上～1万円未満」が最も多く27.7%であり、次いで「①5千円まで」24.1%の順となっている。

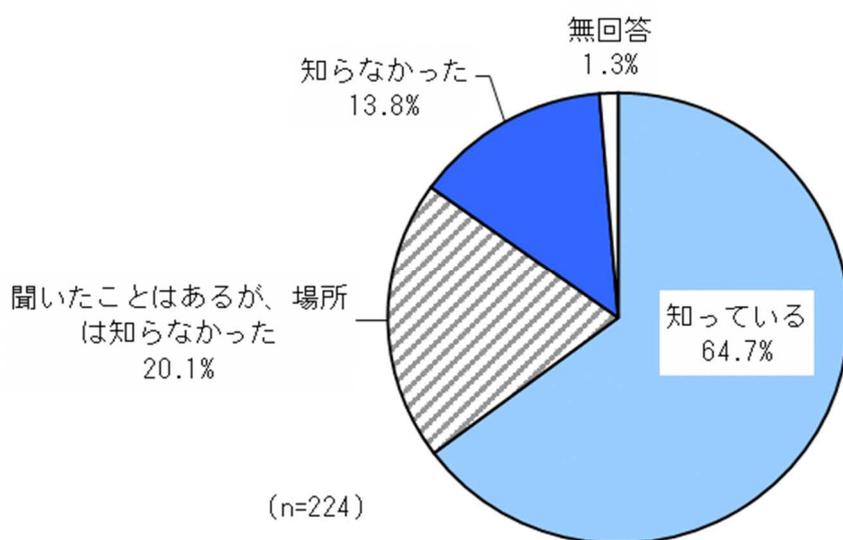
金額	回答者	
	回答数	割合
① 5千円まで	54	24.1%
② 5千円以上～1万円未満	62	27.7%
③ 1万円以上～2万円未満	42	18.8%
④ 2万円以上～3万円未満	11	4.9%
⑤ 3万円以上～5万円未満	13	5.8%
⑥ 5万円以上～10万円未満	11	4.9%
⑦ 10万円以上～50万円未満	9	4.0%
⑧ 50万円以上	3	1.3%
⑨ 無回答	19	8.5%
調査数	224	100.0%



問12 高砂市内に2市2町（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）のごみを処理する施設「エコクリーンピアはりま」が建設されていることを知っていますか。

「①知っている」が最も多く64.7%であり、次点の「②聞いたことはあるが、場所は知らなかった。」20.1%の3倍以上となっている。

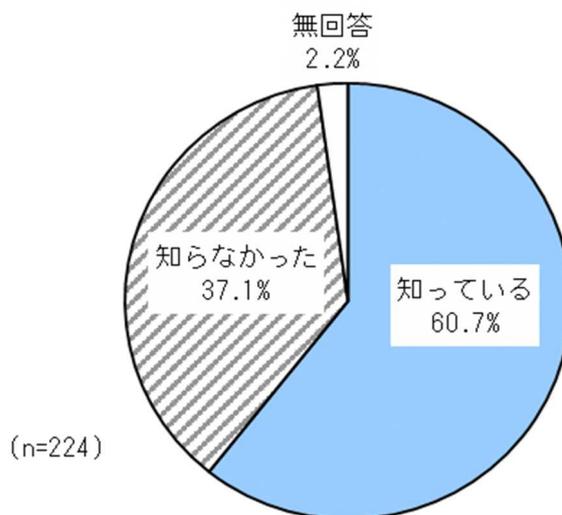
認知度	回答者	
	回答数	割合
① 知っている	145	64.7%
② 聞いたことはあるが、場所は知らなかった	45	20.1%
③ 知らなかった	31	13.8%
④ 無回答	3	1.3%
調査数	224	100.0%



問13 ごみを自己搬入する場合は、令和4年2月1日からエコクリーンピアはりまへ持ち込む必要があることを知っていますか。

「①知っている」が最も多く60.7%であり、次いで「②知らなかった」37.1%の順となっている。

認知度	回答者	
	回答数	割合
① 知ってる	136	60.7%
② 知らなかった	83	37.1%
③ 無回答	5	2.2%
調査数	224	100.0%

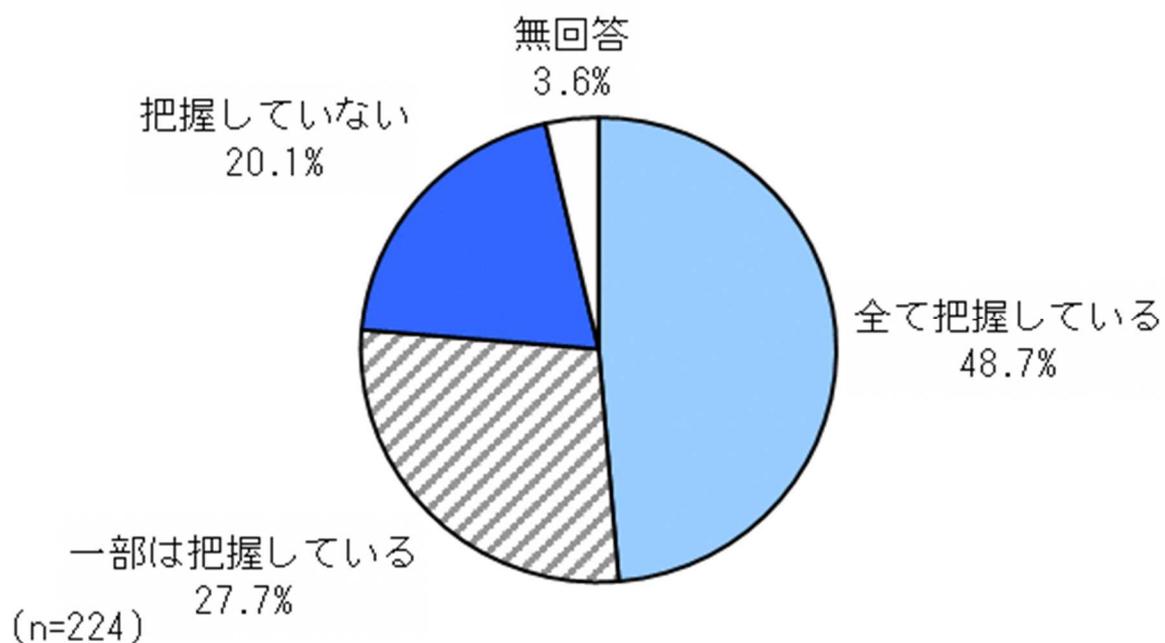


問14 貴事業所のごみ排出量を把握されていますか。

「①全て把握している」が最も多く 48.7%であり、次いで「②一部は把握している」が 27.7%の順となっている。

「②

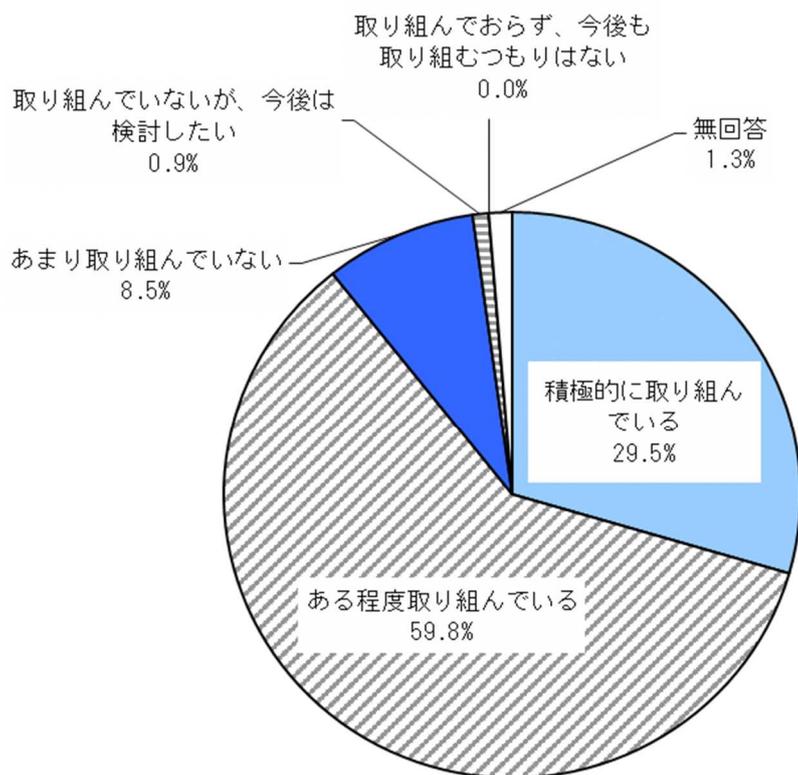
認知度	回答者	
	回答数	割合
① すべて把握している	109	48.7%
② 一部は把握している	62	27.7%
③ 把握していない	45	20.1%
④ 無回答	8	3.6%
調査数	224	100.0%



問15 貴事業所は、日ごろからごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。

「②ある程度取り組んでいる」が最も多く 59.8%であり、次いで「①積極的に取り組んでいる」が 29.5%、「③あまり取り組んでいない」 8.5%の順となっている。

方法	回答者	
	回答数	割合
① 積極的に取り組んでいる	66	29.5%
② ある程度取り組んでいる	134	59.8%
③ あまり取り組んでいない	19	8.5%
④ 取り組んでいないが、今後は検討したい	2	0.9%
⑤ 取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない	0	0.0%
⑥ 無回答	3	1.3%
調査数	224	100.0%

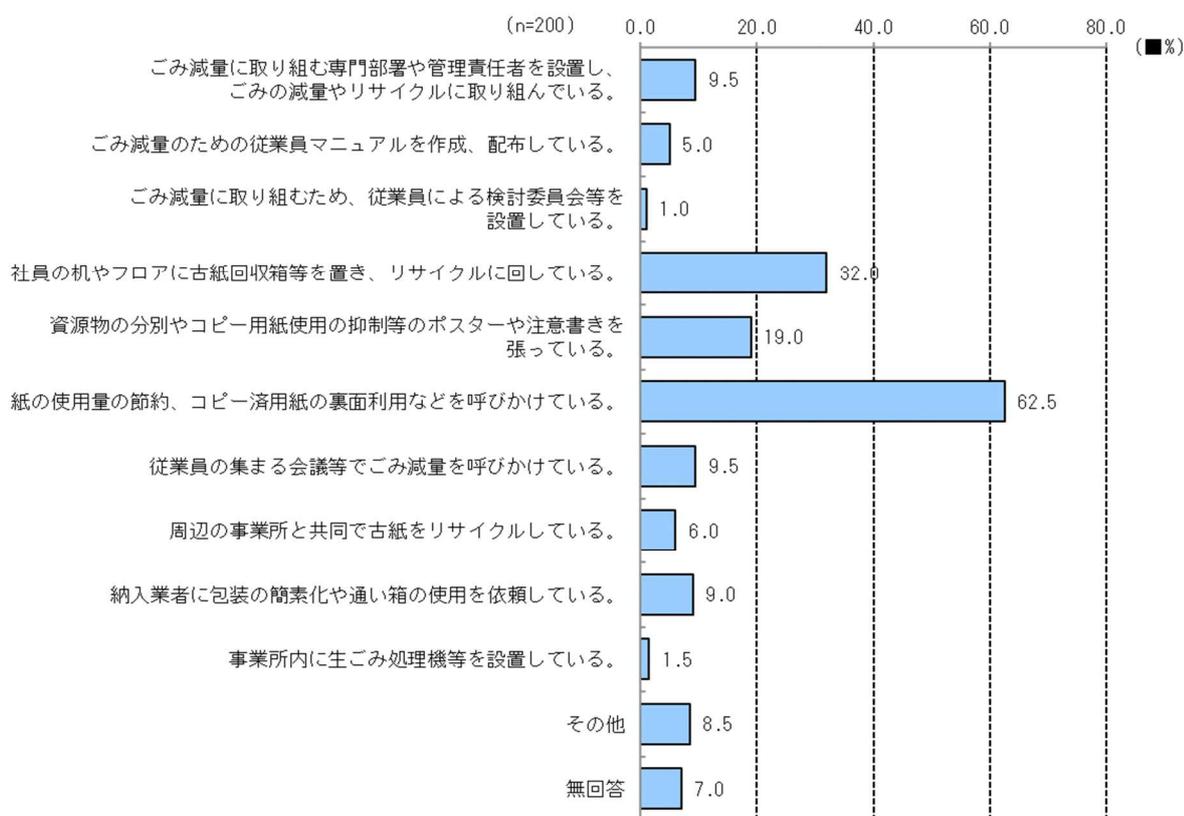


(n=224)

問16 (問15で①、②を回答) 現在どのような取り組みを行っていますか。(複数回答可)

「⑥紙の使用量の節約、コピー済用紙の裏面利用などを呼びかけている。」が最も多く 62.5%であり、次いで「④社員の机やフロアに古紙回収箱等を置き、リサイクルに回している。」が 32%の順となっている。逆に、「③ごみ減量に取り組むため、従業員による検討委員会等を設置している。」が最も少なく 1%であり、次いで「⑩事業所内に生ごみ処理機等を設置している。」1.5%の順となっている。

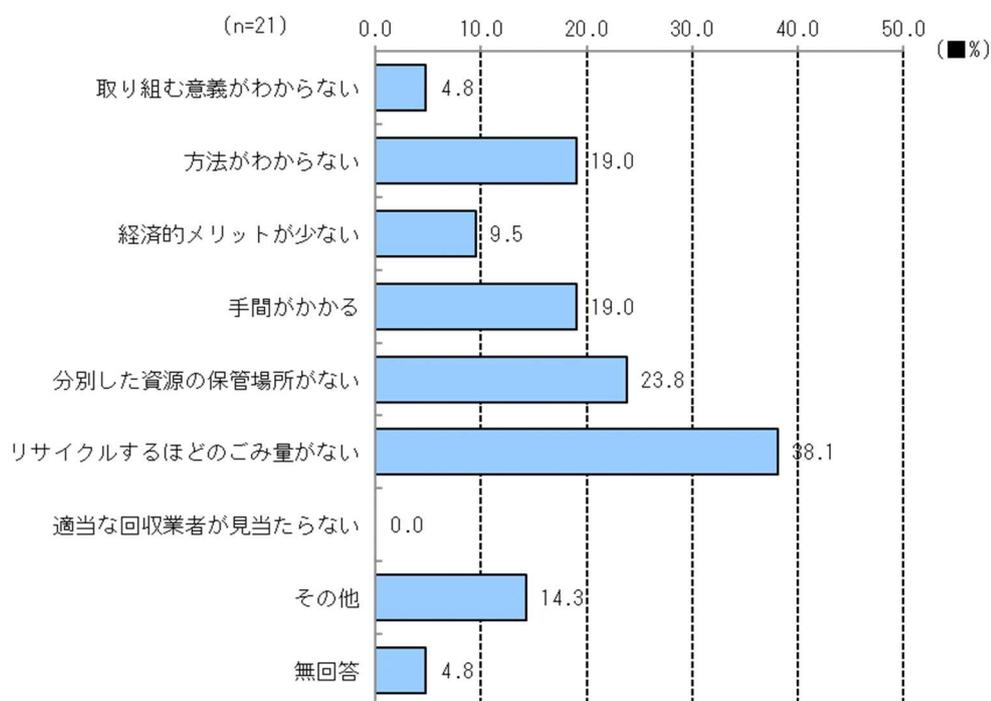
種類	回答者	
	回答数	割合
① ごみ減量に取り組む専門部署や管理責任者を配置し、ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる	19	9.5%
② ごみ減量のための従業員マニュアルを作成、配布している	10	5.0%
③ ごみ減量に取り組むため、従業員による検討委員会を設置している	2	1.0%
④ 社員の机やフロアに古紙回収箱を置きリサイクルに回している	64	32.0%
⑤ 資源物の分別やコピー用紙使用の抑制等のポスターや注意書きを貼っている	38	19.0%
⑥ 紙の使用量の節約、コピー済用紙の裏面利用などを呼びかけている	125	62.5%
⑦ 従業員の集まる会議等でごみ減量を呼びかけている	19	9.5%
⑧ 周辺の事業所と共同で古紙をリサイクルしている	12	6.0%
⑨ 納入業者に包装の簡素化や通い箱の使用を依頼している	18	9.0%
⑩ 事業所内に生ごみ処理機等を設置している	3	1.5%
⑪ その他	17	8.5%
⑫ 無回答	14	7.0%
調査数	200	170.5%



問17 (問 15 で③～⑤を回答) 取り組みを行うにあたり、どのような問題や課題がありますか。(複数回答可)

「⑥リサイクルするほどのごみ量がない」が最も多く 38.1%であり、次いで「⑤分別した資源の保管場所がない」が 23.8%の順となっている。逆に、「①取り組む意義がわからない」が最も少なく 4.8%であり、次いで「③経済的メリットが少ない」 9.5%の順となっている。

種類	回答者	
	回答数	割合
① 取り組む意義がわからない	1	4.8%
② 方法がわからない	4	19.0%
③ 経済的メリットが少ない	2	9.5%
④ 手間がかかる	4	19.0%
⑤ 分別した資源の保管場所がない	5	23.8%
⑥ リサイクルするほどのごみ量がない	8	38.1%
⑦ 適当な回収業者が見当たらない	0	0.0%
⑧ その他	3	14.3%
⑨ 無回答	1	4.8%
調査数	21	133.3%

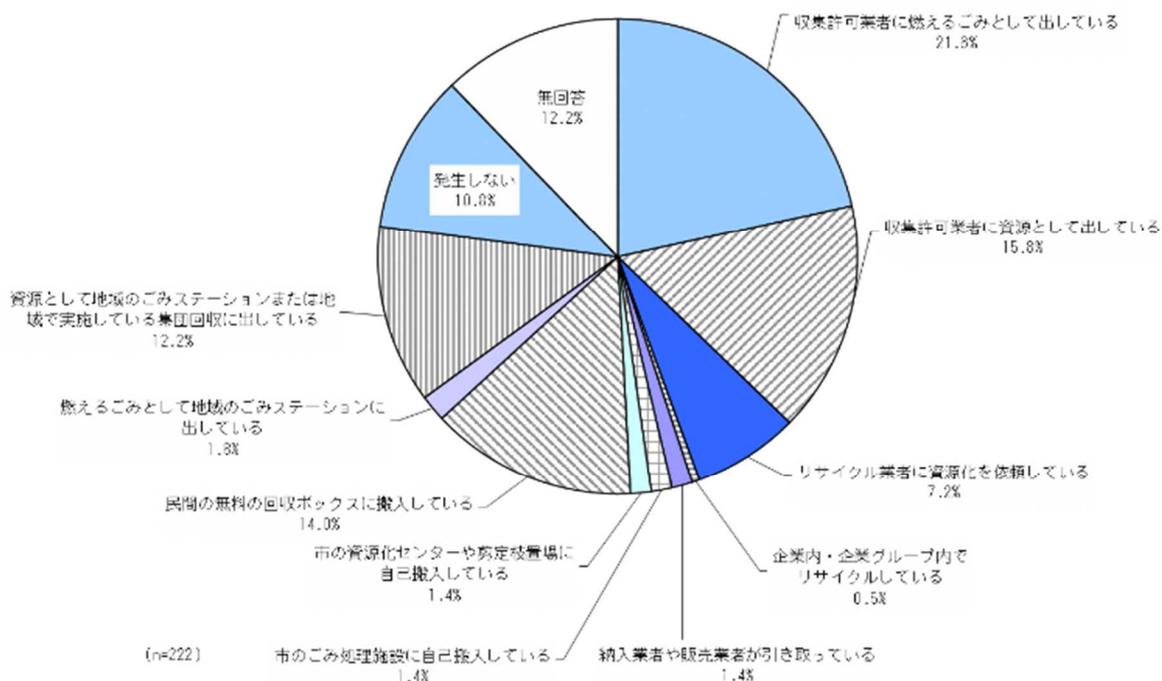


問18 貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物をどのように処理していますか。(品目ごとに○は1つ)

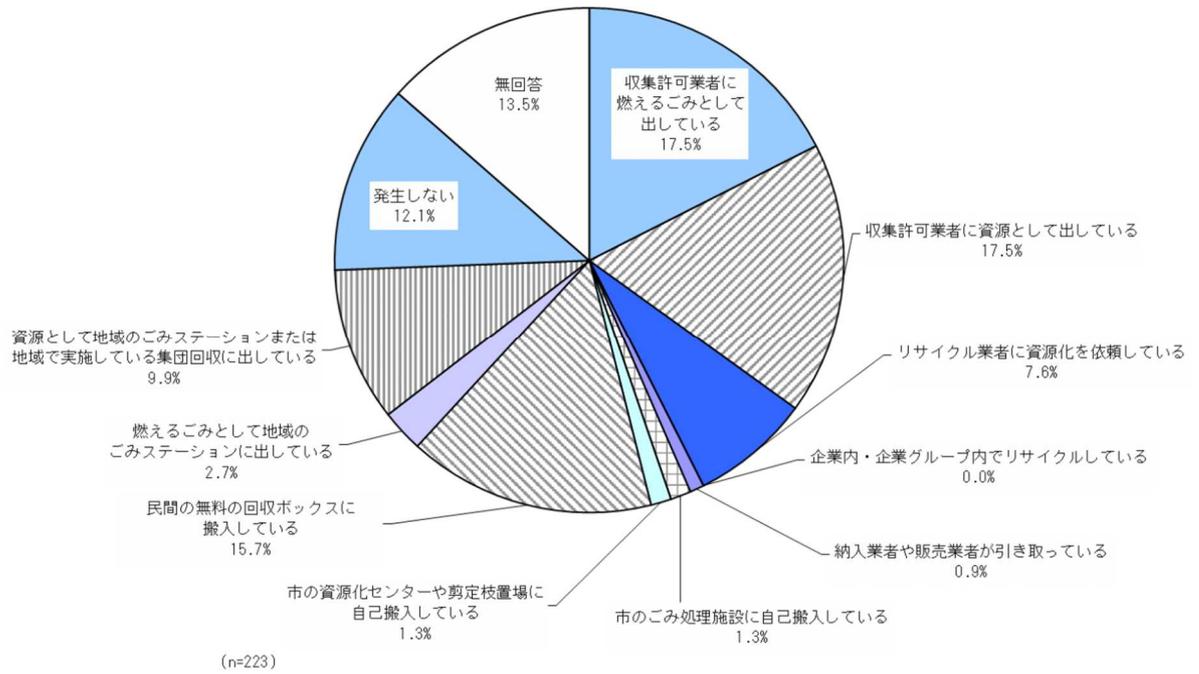
大半のごみの処理方法は「①収集許可業者に燃えるごみとして出している」だが、「段ボール」・「ペットボトル」・「缶・びん」、は「②収集許可業者に資源として出している」が最も多い結果となった。雑誌は「①収集許可業者に燃えるごみとして出している」と「②収集許可業者に資源として出している」が同率17.5%という結果となっている。

種類	新聞・チラシ		雑誌		OA用紙・コピー用紙		機密文書	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 収集業者に燃えるごみとして出している	48	21.6%	39	17.5%	79	35.4%	51	22.9%
② 収集許可業者に資源として出している	35	15.8%	39	17.5%	29	13.0%	24	10.8%
③ リサイクル業者に資源化を依頼している	16	7.2%	17	7.6%	17	7.6%	14	6.3%
④ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている	1	0.5%	0	0.0%	8	3.6%	3	1.3%
⑤ 納入業者や販売業者が引き取っている	3	1.4%	2	0.9%	3	1.3%	5	2.2%
⑥ 市のごみ処理施設に自己搬入している	3	1.4%	3	1.3%	7	3.1%	19	8.5%
⑦ 市の資源化センターや剪定枝置場に自己搬入している	3	1.4%	3	1.3%	3	1.3%	6	2.7%
⑧ 民間の無料の回収ボックスに搬入している	31	14.0%	35	15.7%	6	2.7%	1	0.4%
⑨ 燃えるごみとして地域のごみステーションに出している	4	1.8%	6	2.7%	15	6.7%	5	2.2%
⑩ 資源として地域のごみステーションまたは地域で実施している集団回収に出している	27	12.2%	22	9.9%	6	2.7%	3	1.3%
⑪ 発生しない	24	10.8%	27	12.1%	12	5.4%	38	17.0%
⑫ 無回答	27	12.2%	30	13.5%	38	17.0%	54	24.2%
調査数	222	100.0%	223	100.0%	223	100.0%	223	100.0%

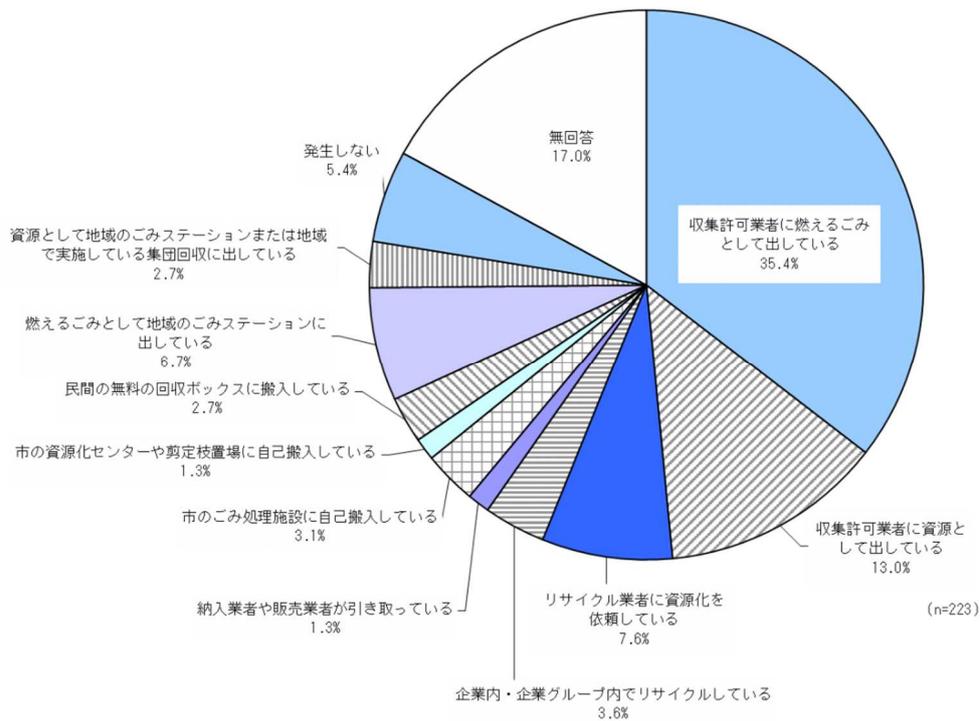
① 新聞・チラシ



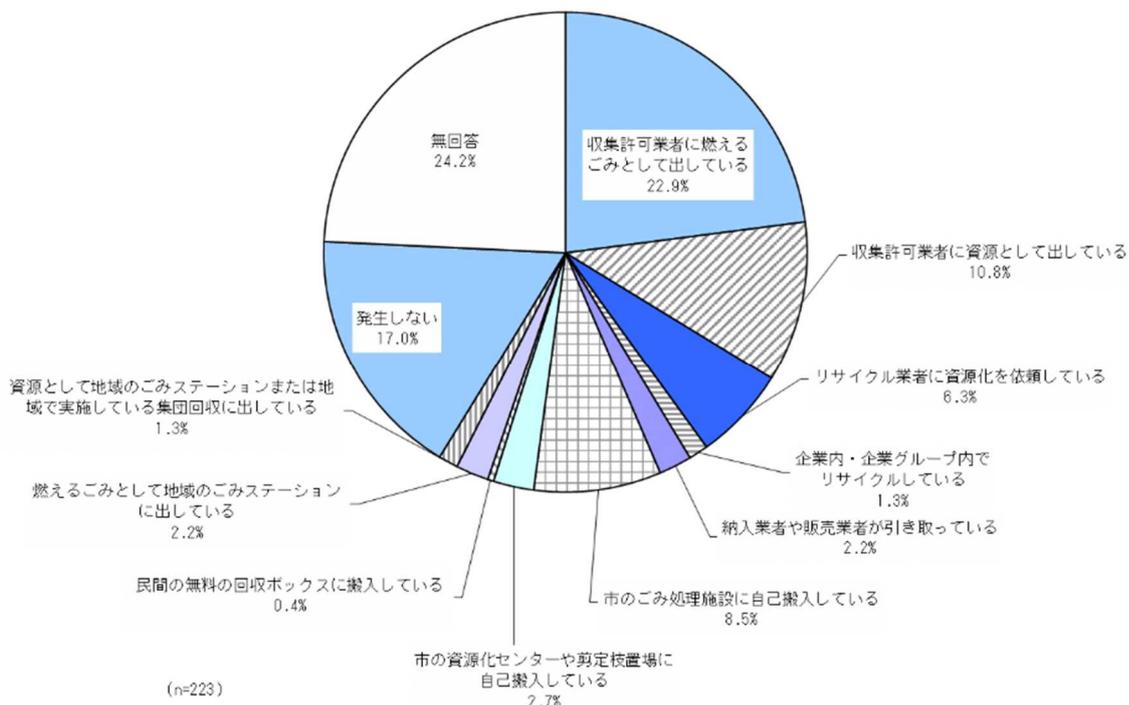
② 雑誌



③ OA用紙・コピー用紙

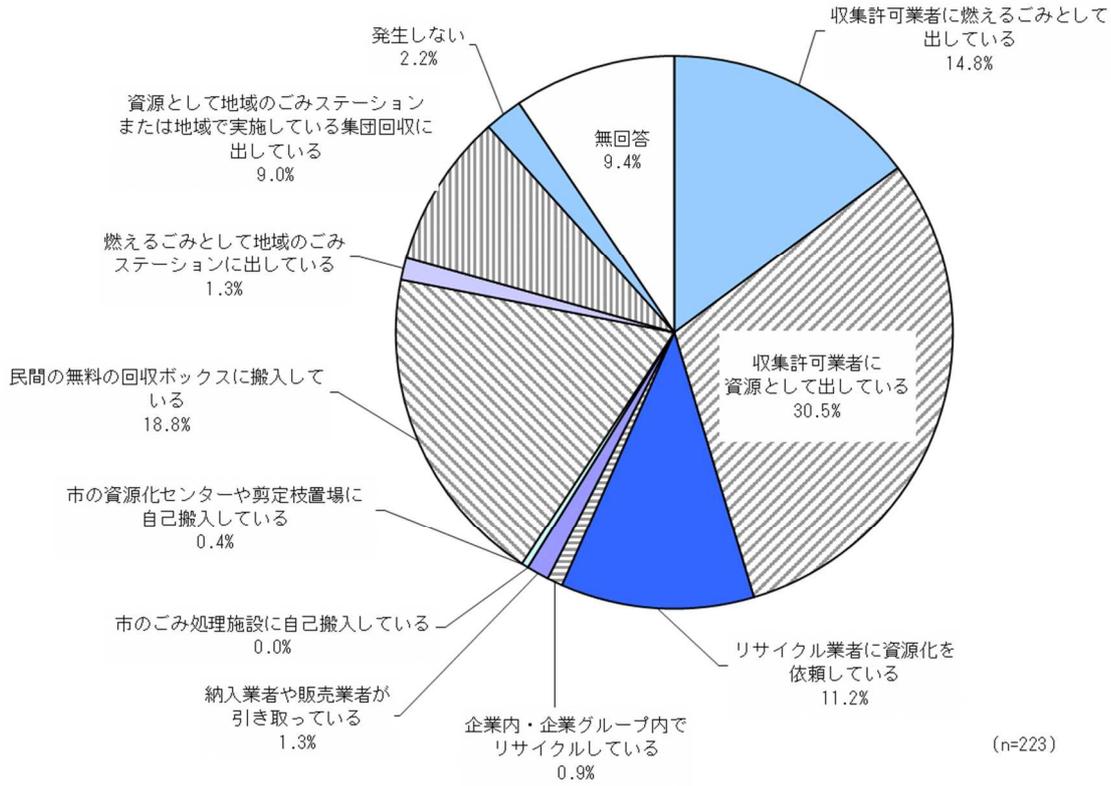


④ 機密文書

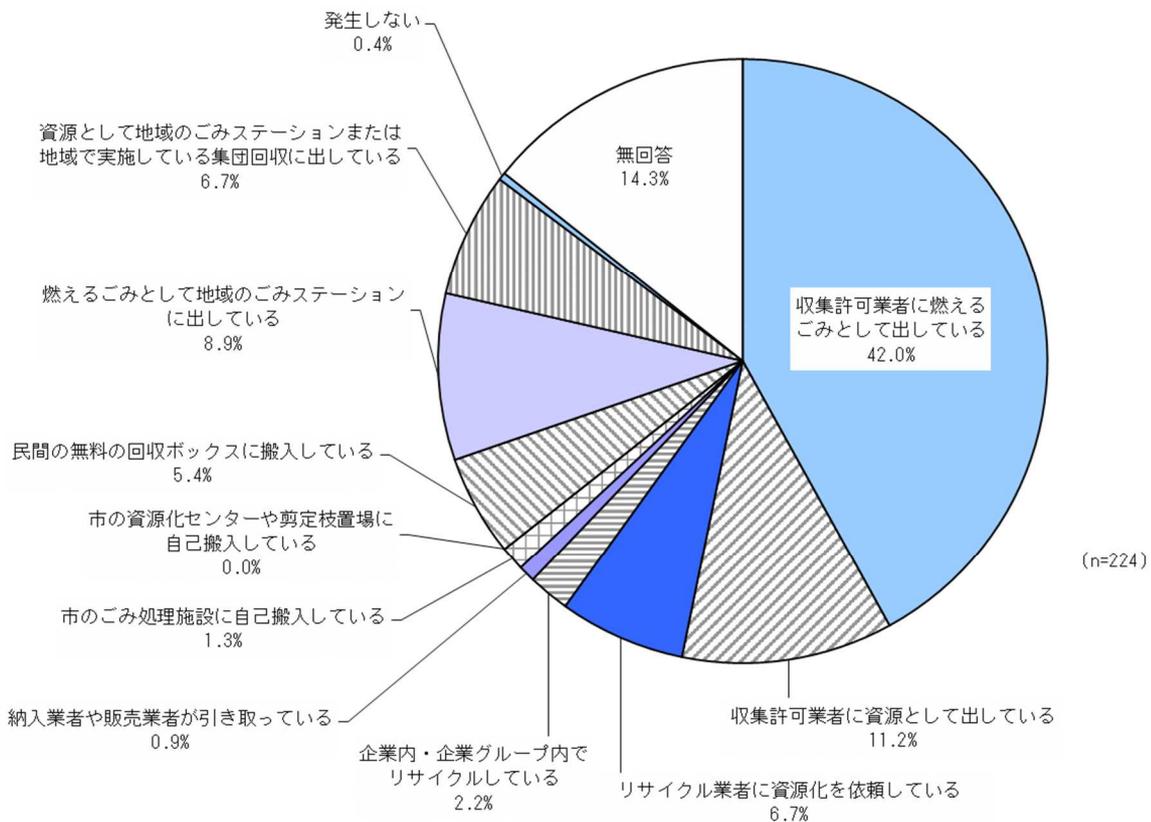


種類	段ボール		雑がみ(メモ、封筒など)		生ごみ・厨芥ごみ		売れ残りの廃業食品	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 収集業者に燃えるごみとして出している	33	14.9%	94	42.2%	119	53.4%	39	17.5%
② 収集許可業者に資源として出している	68	30.6%	25	11.2%	5	2.2%	5	2.2%
③ リサイクル業者に資源化を依頼している	25	11.3%	15	6.7%	1	0.4%	3	1.3%
④ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている	2	0.9%	5	2.2%	1	0.4%	2	0.9%
⑤ 納入業者や販売業者が引き取っている	3	1.4%	2	0.9%	1	0.4%	1	0.4%
⑥ 市のごみ処理施設に自己搬入している	0	0.0%	3	1.3%	2	0.9%	1	0.4%
⑦ 市の資源化センターや剪定枝置場に自己搬入している	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑧ 民間の無料の回収ボックスに搬入している	42	18.9%	12	5.4%	0	0.0%	0	0.0%
⑨ 燃えるごみとして地域のごみステーションに出している	3	1.4%	20	9.0%	24	10.8%	3	1.3%
⑩ 資源として地域のごみステーションまたは地域で実施している集団回収に出している	20	9.0%	15	6.7%	5	2.2%	0	0.0%
⑪ 発生しない	5	2.3%	1	0.4%	39	17.5%	114	51.1%
⑫ 無回答	21	9.5%	32	14.3%	27	12.1%	56	25.1%
調査数	223	100.0%	224	100.0%	224	100.0%	224	100.0%

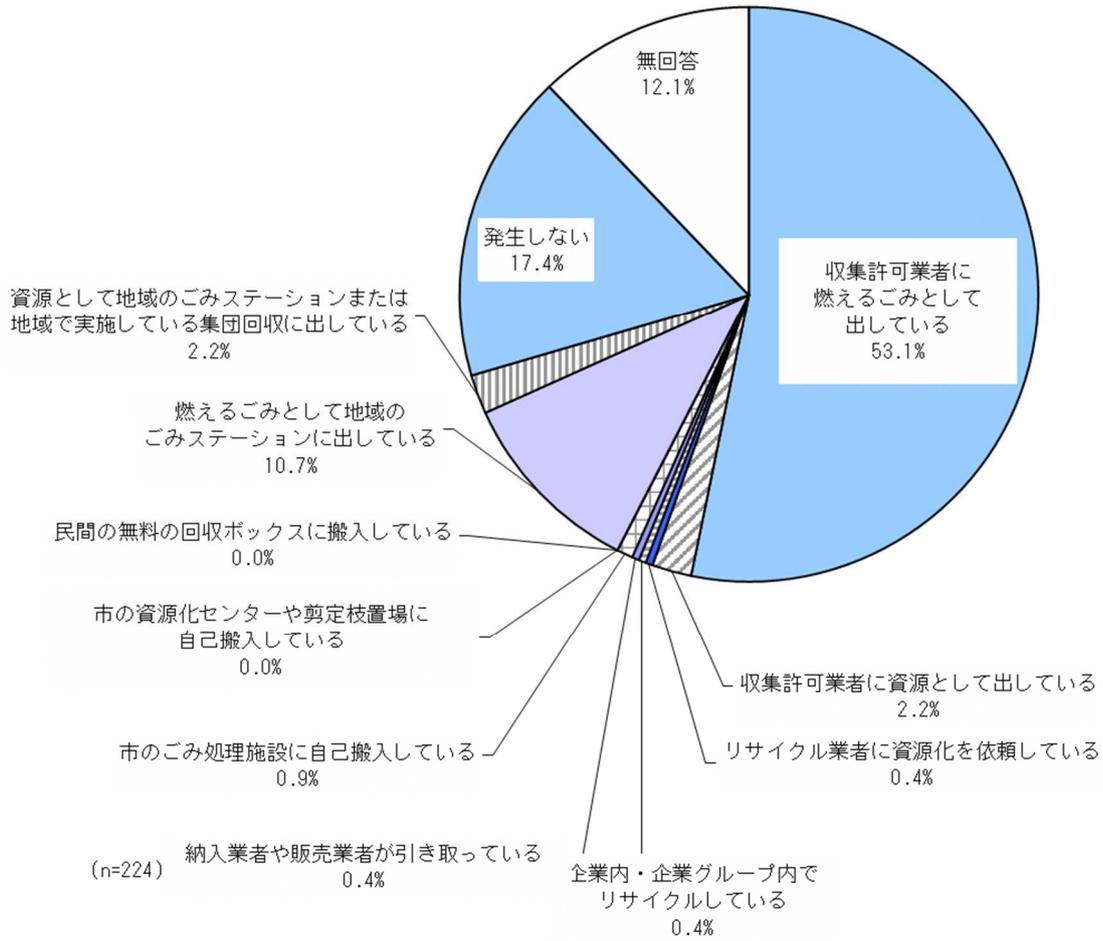
⑤ 段ボール



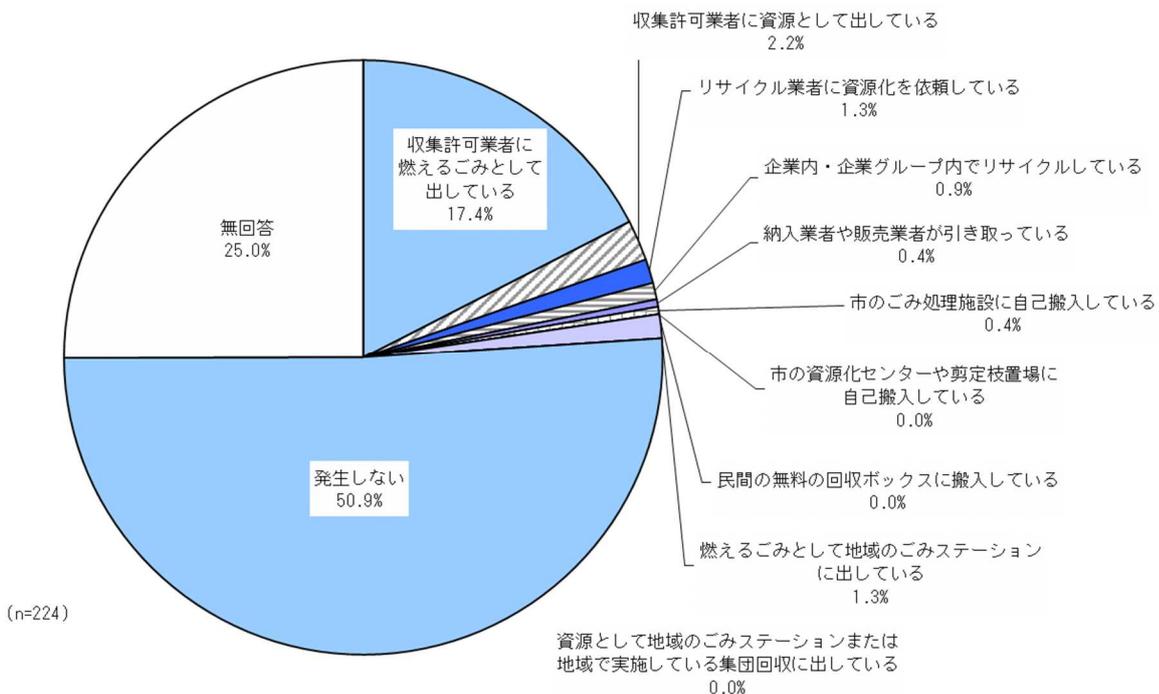
⑥ 雑がみ(メモ、封筒など)



⑦ 生ごみ・厨芥ごみ

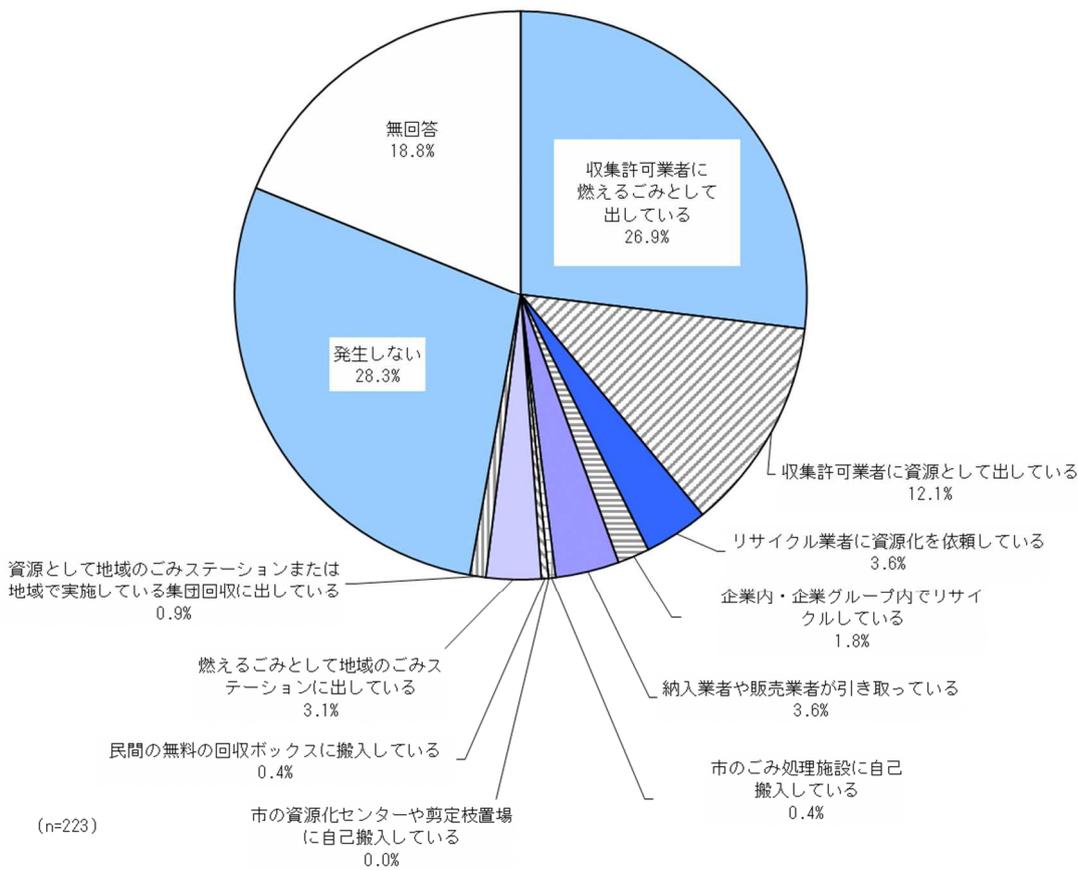


⑧ 売れ残りの廃棄食品

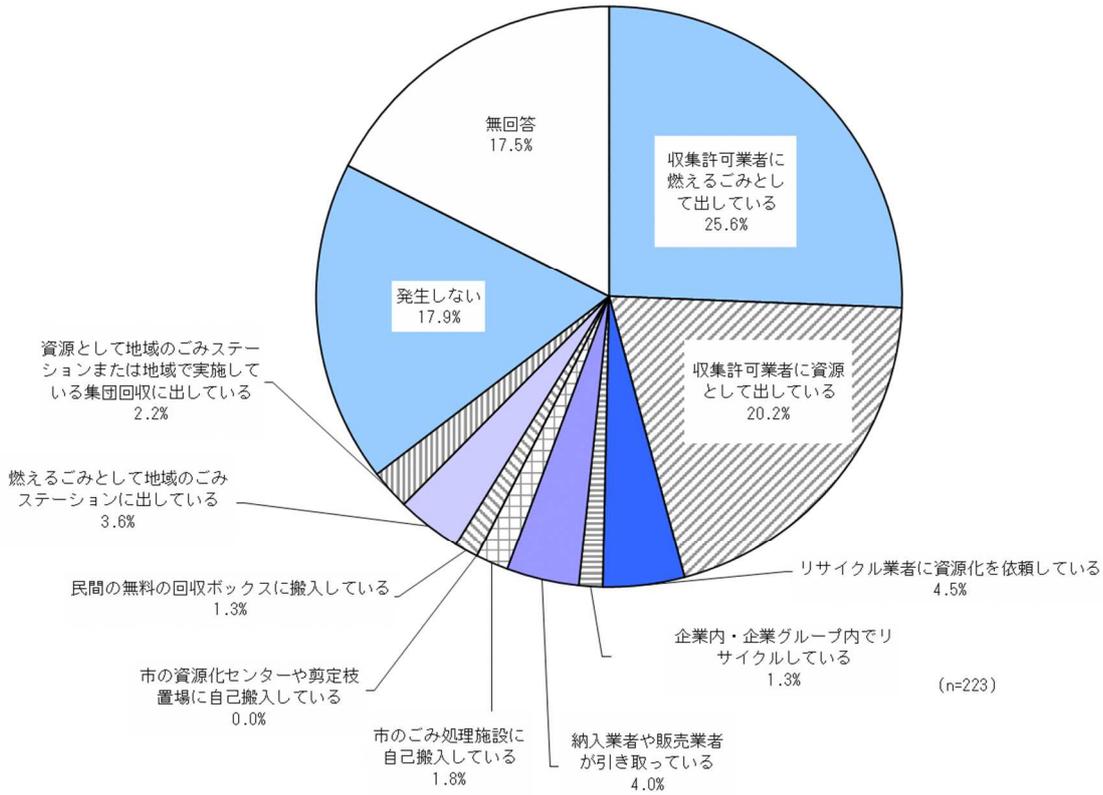


種類	発泡スチロール		廃プラスチック類		ペットボトル		缶・びん	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 収集業者に燃えるごみとして出している	60	27.0%	57	25.6%	31	13.9%	20	9.0%
② 収集許可業者に資源として出している	27	12.2%	45	20.2%	47	21.1%	54	24.2%
③ リサイクル業者に資源化を依頼している	8	3.6%	10	4.5%	10	4.5%	15	6.7%
④ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている	4	1.8%	3	1.3%	1	0.4%	1	0.4%
⑤ 納入業者や販売業者が引き取っている	8	3.6%	9	4.0%	20	9.0%	22	9.9%
⑥ 市のごみ処理施設に自己搬入している	1	0.5%	4	1.8%	0	0.0%	1	0.4%
⑦ 市の資源化センターや剪定枝置場に自己搬入している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
⑧ 民間の無料の回収ボックスに搬入している	1	0.5%	3	1.3%	19	8.5%	12	5.4%
⑨ 燃えるごみとして地域のごみステーションに出している	7	3.2%	8	3.6%	4	1.8%	3	1.3%
⑩ 資源として地域のごみステーションまたは地域で実施している集団回収に出している	2	0.9%	5	2.2%	27	12.1%	38	17.0%
⑪ 発生しない	63	28.4%	40	17.9%	31	13.9%	26	11.7%
⑫ 無回答	42	18.9%	39	17.5%	33	14.8%	30	13.5%
調査数	223	100.0%	223	100.0%	223	100.0%	224	100.0%

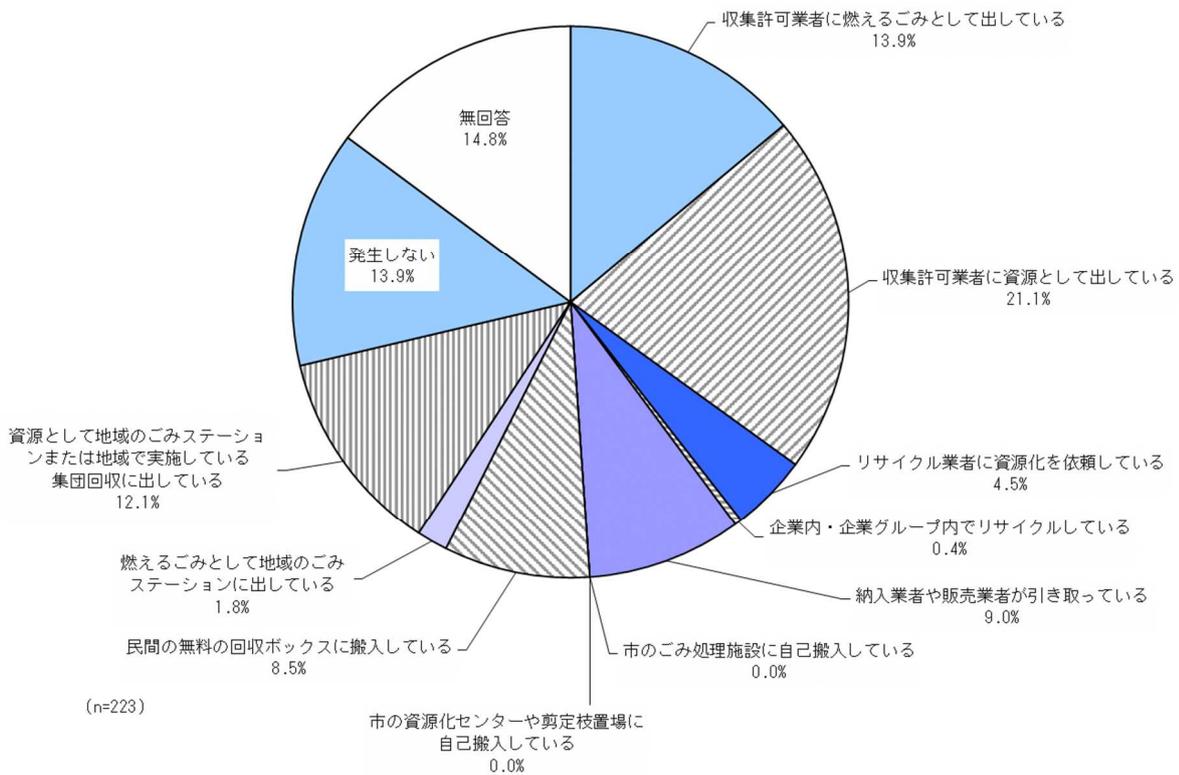
⑨ 発泡スチロール



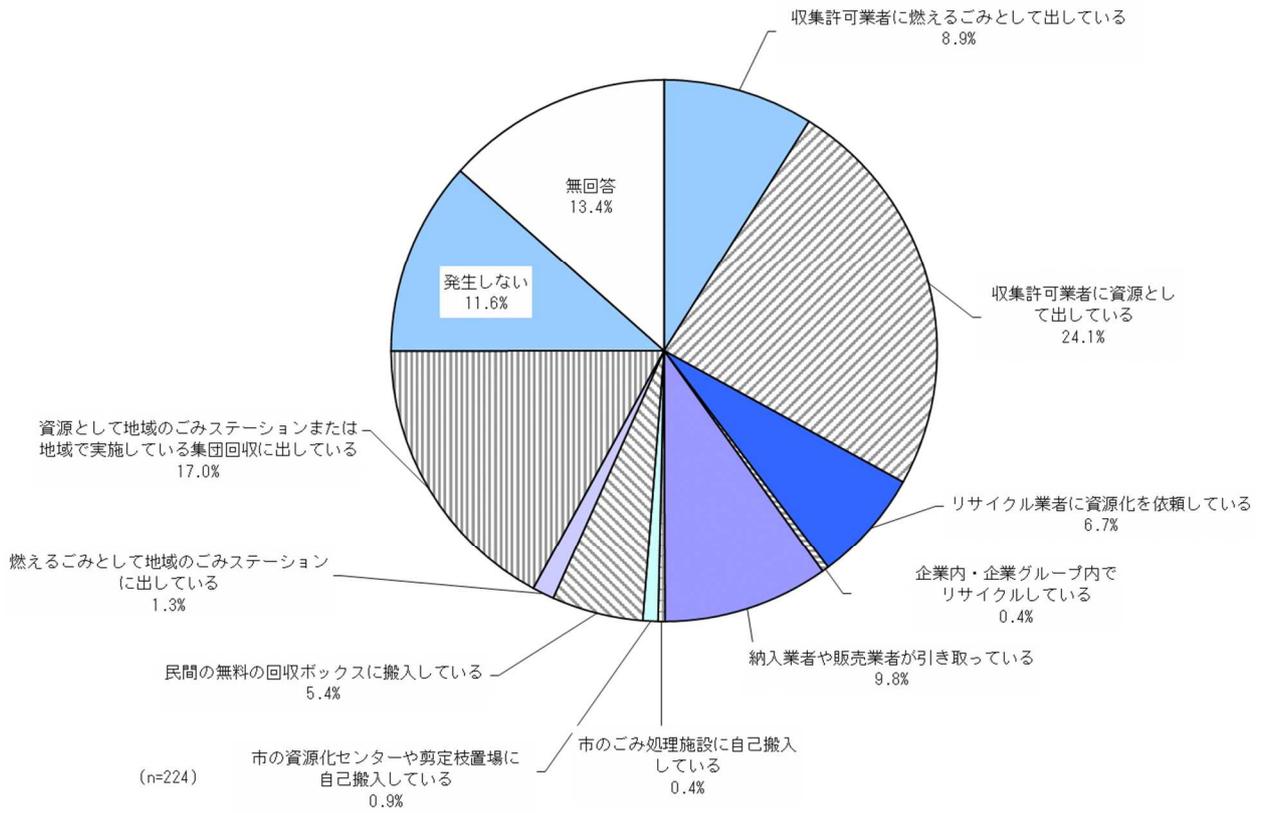
⑩ 廃プラスチック類



⑪ ペットボトル

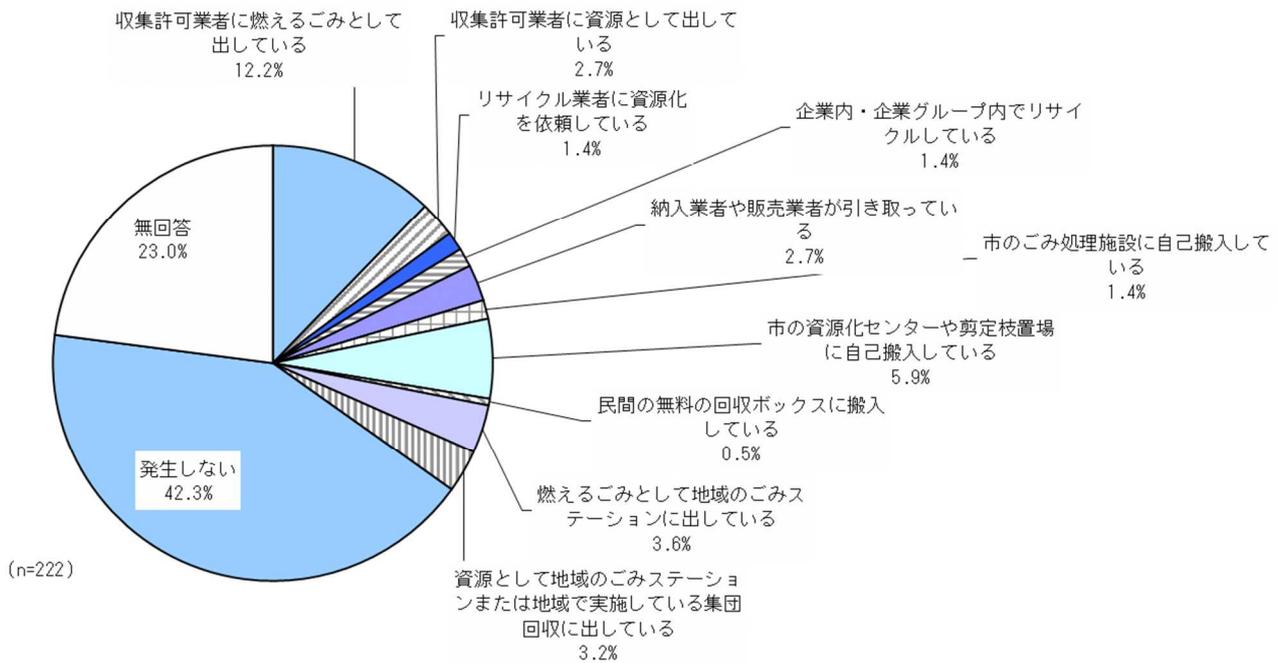


⑫ 缶・びん



種類	剪定枝	
	回答数	割合
① 収集業者に燃えるごみとして出している	27	12.2%
② 収集許可業者に資源として出している	6	2.7%
③ リサイクル業者に資源化を依頼している	3	1.4%
④ 企業内・企業グループ内でリサイクルしている	3	1.4%
⑤ 納入業者や販売業者が引き取っている	6	2.7%
⑥ 市のごみ処理施設に自己搬入している	3	1.4%
⑦ 市の資源化センターや剪定枝置場に自己搬入している	13	5.9%
⑧ 民間の無料の回収ボックスに搬入している	1	0.5%
⑨ 燃えるごみとして地域のごみステーションに出している	8	3.6%
⑩ 資源として地域のごみステーションまたは地域で実施している集団回収に出している	7	3.2%
⑪ 発生しない	94	42.3%
⑫ 無回答	51	23.0%
調査数	222	100.0%

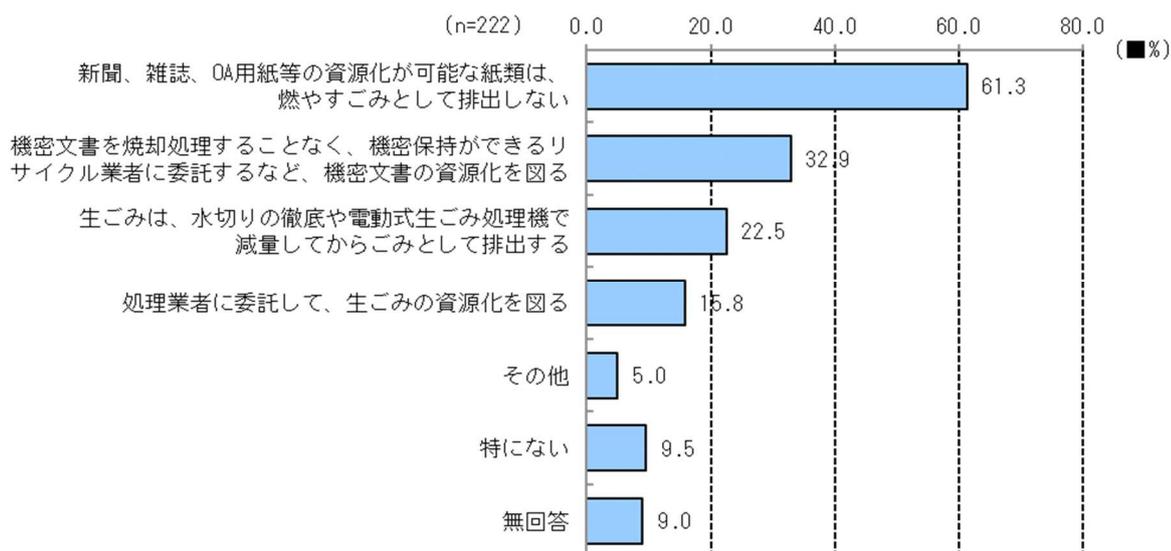
⑬ 剪定枝



問19 事業所から排出される燃やすごみを減らすためには、どのような取り組みが効果的だと考えますか。(複数回答可)

「①新聞、雑誌、OA用紙等の資源化が可能な紙類は、燃やすごみとして排出しない」が最も多く 61.3%であり、次いで「②機密文書を焼却処理することなく、機密保持ができるリサイクル業者に委託するなど、機密文書の資源化を図る」が 32.9%、「③生ごみは、水切りの徹底や電動式生ごみ処理機で減量してからごみとして排出する」22.5%の順となっている。

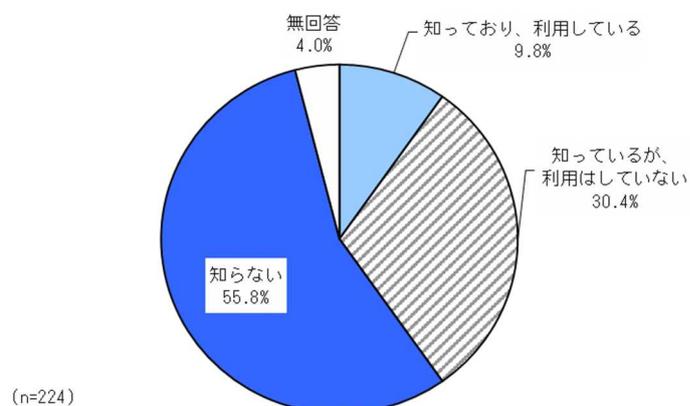
種類	回答者	
	回答数	割合
① 新聞、雑誌、OA用紙等の資源化が可能な紙類は、燃やすごみとして排出しない	136	61.3%
② 機密文書を焼却処理することなく、機密保持ができるリサイクル業者に委託するなど、機密文書の資源化を図る	73	32.9%
③ 生ごみは、水切りの徹底や電動式生ごみ処理機で減量してからごみとして排出する	50	22.5%
④ 処理業者（リサイクル業者）に委託して、生ごみの資源化を図る	35	15.8%
⑤ その他	11	5.0%
⑥ 特にない	21	9.5%
⑦ 無回答	20	9.0%
調査数	222	155.9%



問20 資源化センターで紙類の無料引き取りを行っていることを知っていますか。

「③知らない」が最も多く 55.8%であり、次いで「②知っているが、利用はしていない」30.4%の順となっている。

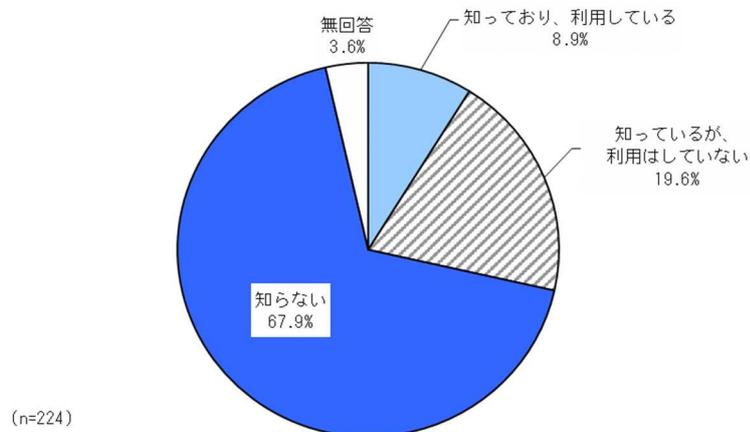
認知度	回答者	
	回答数	割合
① 知っており、利用している	22	9.8%
② 知っているが、利用はしていない	68	30.4%
③ 知らない	125	55.8%
④ 無回答	9	4.0%
調査数	224	100.0%



問21 資源化センターで、月に一度機密文書の受入を行っていることを知っていますか。

「③知らない」が最も多く 67.9%であり、次いで「②知っているが、利用はしていない」19.6%の順となっている。

認知度	回答者	
	回答数	割合
① 知っており、利用している	20	8.9%
② 知っているが、利用はしていない	44	19.6%
③ 知らない	152	67.9%
④ 無回答	8	3.6%
調査数	224	100.0%

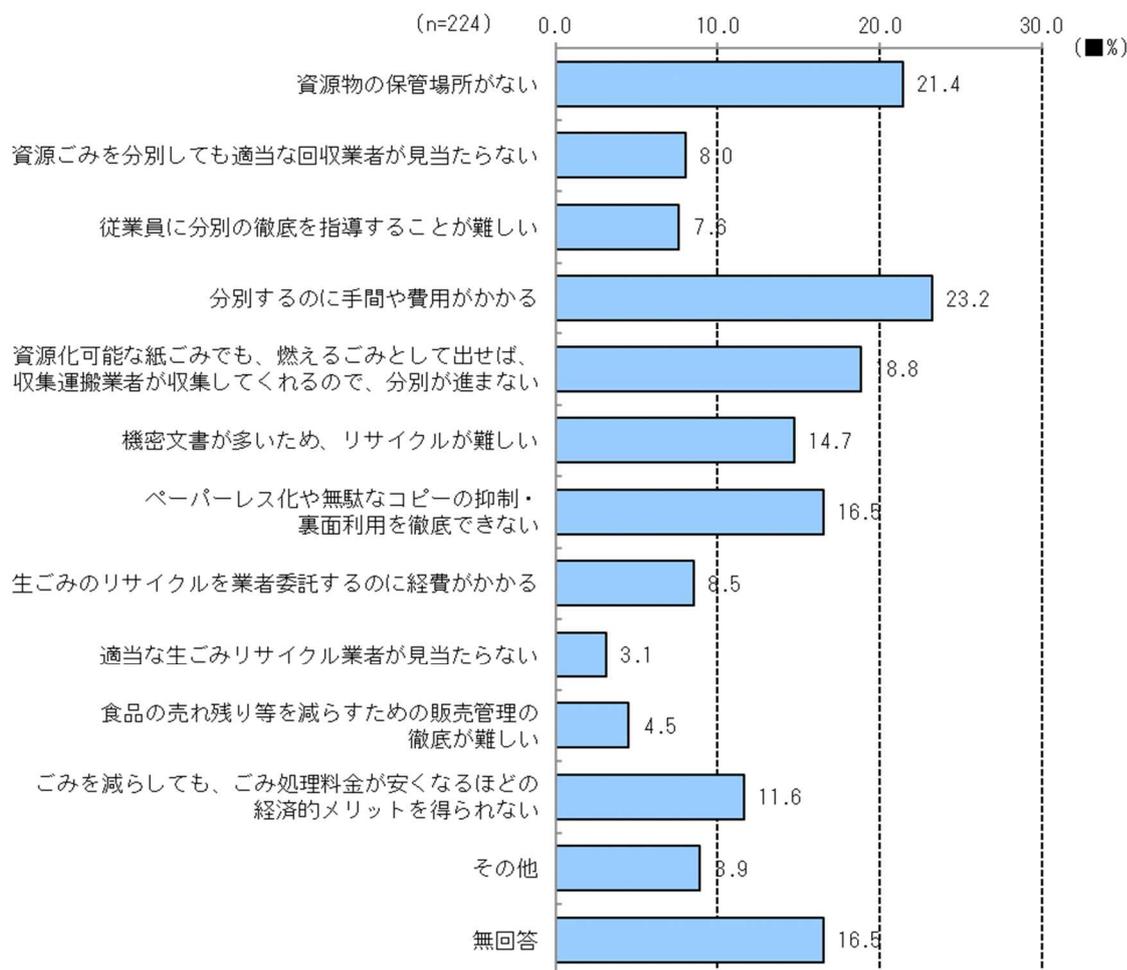


問22 貴事業所では、ごみの減量やリサイクルを進めるうえでの課題は何ですか。(複数回答可)

「④分別するのに手間や費用がかかる」が最も多く 23.2%であり、次いで「①資源物の保管場所がない」が 21.4%の順となっている。

逆に、「⑨適当な生ごみリサイクル業者が見当たらない」が最も少なく 3.1%であり、次いで「⑩食品の売れ残り等を減らすための販売管理の徹底が難しい」 4.5%の順となっている。

課題	回答者	
	回答数	割合
① 資源物の保管場所がない	48	21.4%
② 資源ごみを分別しても適当な回収業者が見当たらない	18	8.0%
③ 従業員に分別の徹底を指導することが難しい	17	7.6%
④ 分別するのに手間や費用がかかる	52	23.2%
⑤ 資源化可能な紙ごみでも、燃えるごみとして出せば、収集運搬業者が収集してくれるので、分別が進まない	42	18.8%
⑥ 機密文書が多い為、リサイクルが難しい	33	14.7%
⑦ ペーパーレス化や無駄なコピーの抑制・裏面利用を徹底できない	37	16.5%
⑧ 生ごみのリサイクルを業者委託するのに経費がかかる	19	8.5%
⑨ 適当な生ごみリサイクル業者が見当たらない	7	3.1%
⑩ 食品の売れ残り等を減らすための販売管理の徹底が難しい	10	4.5%
⑪ ごみを減らしても、ごみ処理料金が安くなるほど経済的メリットを得られない	26	11.6%
⑫ 無回答	20	8.9%
調査数	224	146.9%



問23 今後、ごみ減量やリサイクルに取り組むために、行政側がどのような施策・取り組みを行うことが必要だと思いますか。(複数回答可)

「ごみ処理業者やリサイクル業者に関する情報提供の充実」が最も多く 31.3%であり、次いで「⑥紙類を回収するためのボックスの設置」が 29.9%の順となっている。逆に、「⑨事業所に対する指導や監視体制の強化」と「⑩資源化できる紙類の焼却施設への搬入停止」が同率で最も少なく 2.7%であり、次いで「⑤優良事業所を表彰する制度」4.0%の順となっている。

課題	回答者	
	回答数	割合
① ごみ処理業者やリサイクル業者に関する情報の提供	70	31.3%
② 他の事業所で行われているリサイクルの事例など先進事例の紹介	54	24.1%
③ ごみ減量やリサイクルの方法を示したマニュアルの配布	52	23.2%
④ 近隣事業者が協働して資源化に取り組む、オフィス町内会等の組織の育成	12	5.4%
⑤ 優良事業者を表彰する制度	9	4.0%
⑥ 紙類を回収するためのボックスの設置	67	29.9%
⑦ 加古川市資源化センター利用促進のための取り組み	35	15.6%
⑧ 事業者と行政が意見交換できる場の提供	11	4.9%
⑨ 事業者に対する指導や監視体制の強化	6	2.7%
⑩ 資源化できる紙類の焼却施設への搬入停止	6	2.7%
⑪ その他	14	6.3%
⑫ 無回答	35	15.6%
調査数	224	165.6%

